

大町病院サポーターの会会報

No71

2019 年 7 月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛

北村喜男名誉会長の逝去を悼む 会創立から副会長、代行、会長職 8 年



全力で会の運営にあたっていた故北村喜男前会長は、今年に入り役員について後任を探すよう指示を出し、役職を降りる決意を固め、慰留するも承知しませんでした。副会長が中心となり協議の上、対応に当たり後任を決め、この件で報告に伺ったところたいそう喜ばれていました。総会にあたり、守る会が取り組んできた 9 年間の活動を振り返りこの先の課題を示すメッセージを寄せられました。（会報 70 号既掲載）総会終了後降旗剛会長と高橋次長が挨拶に伺ったのは 5 月 29 日でした。主治医の大町病院副院長高木哲先生が往診を終えられた後へ伺いました。

北村さんは新会長が決まったこと、名誉会長に就任していただいたこと、名称が『サポーターの会』ときまったことを喜び、握手をし激励をしていただきました。その翌日夕方 5 時 30 分急逝されました。6 月 3 日葬儀は大勢の参列者で盛大かつしめやかに執り行われました。サポーターの会も降旗剛会長が功績をたたえ、無念のお別れのことばをのべました。またその前に感謝状と記念品を贈呈しました。

病院を守る会だけでなく教育者、バレーボール界の指導者、青少年育成活動にと幅広い活躍の領域、人脈を持ち大北地域に対する貢献度は計り知れない大きなものでした。ここに関係者の追悼の言葉を掲載し、ご冥福をお祈りします。



↑ 2010 年 5 月守る設立総会

市立大町総合病院サポーターの会 会長 降旗 剛

北村喜男名誉会長は最近体調が思わしくなく闘病生活を余儀なくされておりましたがそんな中にあっても『大町総合病院を守る会』あらため『サポーターの会』の運営について意を配っておられました。北村前会長の突然の訃報は私達にとって大きな驚きであり悲しみを禁じえません。

改めて私降旗が後任の会長をお受けすることとなった責任の重大さをひしひしと感じております。





↑ 2011 年 5 月 第 2 回総会新役員

10 回総会では欠席された北村会長のメッセージで始まりました。

守る会の事業は病院周辺の草取りや花植え・剪定など環境整備、医師・職員、住民との交流会、講演会開催、情報発信など多岐にわたってまいりました。また、北村さんは医師、医療従事者探し、医療職への高校進学指導要請などに力を入れていました。

病院存続の最大の課題である医師確保に向けては平成 24 年 1 月県知事、県健康福祉部長、そして 2 月には信大付属病院長へ病院関係者等とともに医師派遣に関する要望活動を行い、さらに平成 27 年 3 月休止に追い込まれた産科の分娩再開と産科医確保の署名は、大北全地域に呼びかけ、街頭活動含め 48,900 名に達し、地域の熱い思いはお産再開への大いなる原動力となり、県や信州大学に対して地域医療を守る大北地域の大きな働きかけとなりました。その結果医師確保に光が見え始め総合診療の指定病院の実現にもつながったのでした。

大町総合病院は資金不足となりこの一年経営再生に向けて多くの議論を呼び起こしましたが、病院存続への市民の思いは固く、給与の削減はじめ病床数の見直しと医療体制充実などを内容とする再生プランを作成し、現在大きな改善が進んでおります。

この改革にあたりあなたは常に先頭に立ち陰に日なたに積極的に声援を送り再生推進に大きな役割を果たされました。あなたは持ち前の温かな心と誰をも包み込む寛容な精神で会員の気持ちを一つにつなぎ、みんなを牽引してくれました。

平成から令和へ、新しい時代にふさわしいさらなるご指導をと信じておりました矢先、突然先立たれてしまいました。誠に残念でなりません。私達は時代を見通すあなたの深い洞察力に学び大町病院を一層力強く応援していく決意をご霊前に捧げ、弔辞といたします。

北村さんは平成 22 年 5 月の大町総合病院を守る会発足当初より副会長として、10 月からは会長代行 翌年から令和元年 5 月までの 8 年間は会長として永きに亘り 市立大町総合病院の存続のため、会を代表してその先頭に立ちご尽力されました

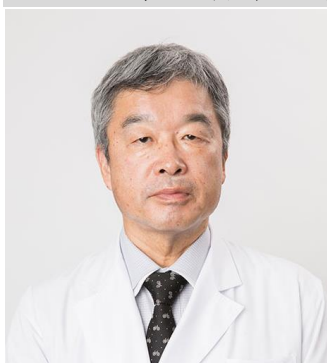
今年 5 月 19 日の「守る会」第



↑ 平成 27 年 3 月阿部知事に署名を提出

大町市病院事業管理者兼市立大町総合病院長

井上 善博さん



大町病院を守る会の会長として、長きにわたり重責を担われた北村さんの訃報に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、大町病院への温かなご支援ご協力に、心より感謝とお礼を申し上げます。

10年ほど前、内科医師が減少し、診療制限を余儀なくされるなど、病院経営が非常に厳しい折に、守る会が設立され、大町病院に温かな支援活動を行って下さいました。北村さんには会長として、病院の環境整備、病院職員との

交流事業をはじめ、産科休診の際は、先頭に立っての署名活動など、数えきれないご支援をしていただきました。また、おらかな態度と優しい笑顔で、そして時には厳しく、迫力と親しみある声で私たちを励まし続けて下さいました。

北村さんのご遺志をしっかりとしつかりと守り、大町病院はこれからも地域密着型の病院として、地域の皆さんに安心安全な医療を提供してまいりますので、引き続き見守っていただければ幸いです。



↑ 2017年7月 職員家族バーベキュー交流会（安曇野国営公園）

会発足当初より一緒に役員として活動してきた会事務局次長 塩原義夫さん



北村先生と私は同じ町内、大町高校の大先輩、私が大町高校のPTA会長の時のPTA顧問、そして、西小の学校評議員でも10年間ご一緒でしたので個人的にも大変お世話になりました。先生は優しい反面大変厳格な方でした。平成20年私は肩の手術で入院した時、小林敏博さん、種山博茂さんたちと大町病院を良くする会としてテレビを寄贈したことがありました。その頃北村先生は九日町の自治会長として、外科の高木哲先生、事務長の宮脇哲子さんらを招いて懇談会を開き、「大町病院を守る会」が芽生

えていました。平成22年、大町で開催された県のシンポジウムで地域医療への認識が高まり、同年5月30日「大町病院を守る会」が正式に設立されました。北村先生は、長年会長としてご尽力され、会の礎を築かれました。平成27年3月には北村先生を中心に、産婦人科の復活や医師確保を求めて4万人を超える署名を集め、県庁に陳情したことを思い出します。この3月「大町病院サポーターの会」と名称が変わりましたが、北村先生のご意思をついで頑張っていきたいと思います。



花壇の草取り作業

「北村喜男先生を偲んで」 大北バレーボール協会 会長 中村 元治さん



まさにバレーの北村として君臨され多くの人に愛され、情熱を持った愛好者が集う大北協会の礎を築かれた先生。本当にお疲れ様でした。

私が初めて先生にお会いしたのは私が中学生の時、当時熱血指導で有名な顧問の恩師として先生が特別指導に見えた時のことでした。

当時はミュンヘンへの道、『負けてたまるか』という言葉が流行り、根性論の全盛期 一体どんな怖い先生が来るのかビクついていたのを思い出します。

が、以外にも先生は優しく、そしてその機会に何故か私は褒められ、単純な私は調子に乗って、現在までバレーボールとの縁が続いています。たくさん喝もいただきましたが、たまに優しく誉めていただきました。ありがとうございました。



↑ 市議会との懇談

お別れの言葉 大町高等学校バレーボール部教え子 田原 茂(58年度卒業生)



北村喜男先生のご逝去に際し、高校バレーボールの教え子として、お別れの言葉を申し上げます。

先生と初めてお会いしたのは、昭和56年4月に大町高校で、友達に誘われてバレー部を見学した時でした。体育館では、当時50代前半の先生が、バレー部顧問として張りのある大きな声を体育館中に響かせていました。身長が高かった私は、先生の目に留まり、そこからバレーボール人生が始まりました。先生とお会いしたことによって、国内バレーボールリーグの経験やバレーボール協会の事業に携わることができ、とても感謝しております。まだまだ健康

で活躍されると思っていましたが、このように、急なお別れになるとは、思いもよりませんでした。もう先生のお姿を拝見することはできません。これからは、先生との思い出や教を心に刻み頑張っています。北村先生、長い間、お疲れ様でした。たくさんの思い出を、ありがとうございました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。



2011年9月 SBC 久野 アナウサーインタビュー

第9回病院祭、5月26日に開催

「ともに育てよう地域に根づく希望の芽」テーマに

少ない経費で最大の効果を目指し、様々な制約のある中での創意工夫の見える取り組みとなった。手作りの温かみのあるチラシを作成し、口コミや宣伝媒体を使い市民の自主的な参加を促した。内容も地域密着型の病院祭を目指し、地域医療と住民の健康に力点をおいて、病院医師による室内での講演や健診・指導等を



重点に、血圧測定、栄養指導、進路相談、ハンドマッサージ、伝筆、こども白衣、がん予防クイズ、吹奏楽等職員と住民のふれあいを深める催しを展開した。野外ではヤギと遊ぶ、読み聞かせ、がんばりやさんのパン・クッキー、餅つき、焼きそば、焼き鳥、車による揚げパン、かき氷の販売、書道のパフォーマンスなどが行われた。病院祭には家族連れを中心に大勢の市民が訪れた。来賓として吉澤義雄副市長、諏訪光昭県議、中牧盛登市議会議員、横澤伸大北医師会長が祝辞を述べた。

病院祭ミニ講演要旨

演題1 漢方医学の世界 内科（漢方・リウマチ）北原 英幸先生

先生経歴 2007年信州大学卒飯田市立病院→2009.4～2019.3 富山県立中央病院内科和漢リウマチ科 大町病院では火、水曜日午前中内科外来で漢方・リウマチを診察。

◆漢方治療の適応は

- ①西洋医学治療を受けても病状が続く場合（例自律神経失調症、冷え性、虚弱体質等）
- ②西洋医学治療の適応になりにくい場合 →漢方医学的な視点で問題解決を目指す。漢方で改善する場面が多々ある。

◆漢方医学の歴史は古く中国医学が起源・・・西暦2000年頃

・奈良時代に日本へ伝来し、明治時代に西洋化政策で衰退する。地道な復興運動により昭和40年代に漢方薬が保険適用となる。



↑ 北原英幸先生

◆漢方医学的な体の考え方は・・・体調を体全体的に捉える3つの視点

①陰陽：体が 冷える／熱い・・・虚実：体力が弱い／強い

②気：生命エネルギー・・・血：気から生まれ、体を栄養する。水：気から生まれ、体を滋潤する

③五臓：肝・心・脾・肺・腎のバランス

◆気血水が乱れるといろいろな症状が出てくる・・・

・気の失調

気 虚 気の不足・・・元気がない、易疲労感

気 鬱 気の停滞・・・喉や胸のつかえ、腹のはり

気 逆 気の上衝・・・のぼせ、動悸

・血の失調

瘀 血 血の流れが滞った状態

血 虚 血の不足、血の働きの不足：貧血 皮膚乾燥

・水の失調

水 滯 浮腫、胸水、めまい、水様性鼻汁など

◆漢方医学的な診察の仕方は・・・

①問診：症状の経過、治療歴・・・体質（冷え症／暑がり、胃腸が強い／弱いなど）

②脈診：浮沈、強弱、速さ など

③舌診：色調、苔の有無、歯痕の有無 など

④腹診：腹の緊張度、熱感／冷感、圧痛の有無 など

→ 陰陽虚実、気血水、五臓の状態から病態を判定

→ 漢方薬を決定

◆漢方薬：生薬の組み合わせでできている

例 葛根湯＝葛根、麻黄、桂皮、芍薬、生姜、大棗、甘草

◆漢方薬の飲み方

①煎じ薬 ②エキス製剤がある。保険診療で処方

◆代表的な漢方薬

①〈五苓散〉

水滯・・・天気の良い日に体調が悪化する時使用

〈使用目標〉頭痛、めまい、口渇 発汗 尿量減少 下痢

五苓散の構成生薬 気の調整 桂皮 水の調整 茯苓 蒼朮 猪苓 沢瀉

②〈抑肝散〉 気逆 肝気鬱血

〈使用目標〉興奮しやすい、イライラ、怒りやすい 不眠 子どもの癇癪、夜泣き

認知症の周辺症状（幻覚、せん妄、興奮、徘徊など）

どんな生薬で作られているか

気の調整 甘草 水の調整 蒼朮 茯苓 血の調整 川芎 当帰 肝の調整 柴胡 釣藤鈎



↑ 布切りボランティア



↑ 講演会の参加者

◆**冷え性と漢方薬** 通常の人は苦痛を感じない温度で、体に異常な冷感を自覚し、長期間にわたって持続する病態。

◆**「冷え」と関連する症状** 顔色不良、風邪をひきやすい、疲労感 不眠、眠気、起床が辛い 頭痛、めまい、肩こり、鼻汁、咳、胸苦しさ 腹痛、食欲不振、下痢、便秘、頻尿 月経前症候群、月経困難症 皮疹 冷房が嫌い、入浴で温まりにくいなど

◆**冷え症の分類** ①全身型 ②四肢末端型 ③上熱下寒型（冷えのぼせ）がある。

全身型 真武湯（茯苓、芍薬、蒼朮、生姜、附子）

気虚 水滯 脾虚が失われた状態に

脾虚

西洋医学では、「冷え症」に相当する概念が無い。＊自律神経失調症や不定愁訴の一部として認識。

＊基礎疾患がある場合は、その疾患としてフォロー。

◆**漢方治療は患者の自覚症状の改善を目指す。**

＊冷え症も重要な治療対象の一つで、冷えに対する多彩な漢方薬が存在。

漢方外来では、漢方医学的な視点で症状に対処し、改善を目指します。

お困りの症状がありましたら、ご相談ください。

講演第2 「胃癌」内科医 薮谷 亨先生

先生経歴 2004年福井大学医学部卒 2004年聖隷三方原病院→2019.3年釧路赤十字病院

当院火曜日消化器内科外来（他に診療日等）

癌発生の臓器

	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	胃	大 腸	肺	前立腺	肝 臓
女 性	乳 房	大 腸	胃	肺	子 宮

癌死の多い臓器

	1位	2位	3位
男 性	肺	胃	大 腸
女 性	大 腸	肺	膵 臓



胃がんの危険因子は塩分過多、野菜不足、喫煙、ピロリ菌、遺伝子

ヘリコバクターピロリ菌の感染率・・・年齢とともに上昇する。

ピロリ菌保菌者 60歳代6割、70歳代70%

慢性胃炎、萎縮性、胃潰瘍 10年間でピロリ菌保菌者が癌になる率2.6%。

1週間の投薬で9割以上が除菌できる。

ピロリ菌の除去に成功した場合の胃がん発生のリスクの割合

・ピロリ菌を除去した人 3.5% ・ピロリ菌を除去していない人 9.6%

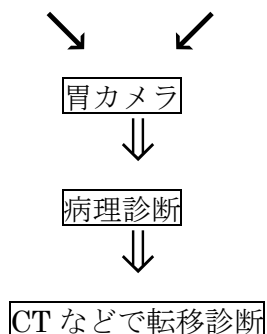


↑子どもへの読み聞かせ もんぺの会

胃がんの診断

検診異常（胃バリウム、ABC 検診、貧血）

自覚症状（胃痛、腹満感、貧血など）



☞ CT による検査・・・転移箇所

胃がんの治療

①早期がんの場合→内視鏡的切除、縮小手術

②進行がんの場合→定形手術、（再発予防として）＋薬物療法

③遠隔転移がある場合→薬物療法（・化学療法・分子標的療法・がん免疫療法）、対症療法
ステージ別 5 年生存率（%）

I・・・97.3 II・・・65.7 III・・・47.2 IV・・・7.3

まとめ 胃がんはごくありふれた病気です

検診で早期発見が可能です

ピロリ菌が見つかった人はすぐ除菌治療を大町病院で



大町病院給食スタッフ（臨時職員）随時急募

職 種	調理師、栄養士、調理業務員
採用人数	若干名
応募資格等	調理師、栄養士の有資格者または、働く意欲のある方
採 用 日	随時
業務内容	病院給食の盛付、配膳、食器洗浄または、食種、食数の管理業務
勤務時間	パート 6:00～19:15 の間の 3～6 時間 日給・月給 6:00～19:15 の間の 7 時間 45 分 ※週休 2 日制。※早出、遅出勤務あり。
賃 金	時給 860 円～930 円 または、日給 6,900 円～7,300 円 または、 月給 173,000 円～183,000 円 ・通勤手当 ・早出遅出手当
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険に加入します。問い合わせは病院総務課（0261-22-0415）

お知らせ 職員家族・役員、焼き肉交流会は 7 月 21 日（日）11 時から大町運動公園で会費 1000 円。

職員家族は総務課へ申し込み。サポーターの会は役員参加対応とします。先着 30 名。

ホテル観賞会へお出かけください 大勢の病院サポーターが応援している（常盤上一）高瀬川ホテルの里（会長：北澤学さん）では毎年数百匹のホテルが乱舞します。今年は 6 日～14 日が最盛期となりそうです。水温の低い鹿島川の水で飼育されているため他所のところより遅く発生します。おでかけください。